

# 東光寺だより

和尚さんの趣味がまた増えました！

東光寺の玄関に入りますと、右側の棚に変な瓶がならんでいます。「寺 利 生」何と読むのでしょうか？中を覗いてみますと、緑色のかわいらしい「苔」が入っています。



そうです。このごろ静かなブームを巻き起こしている、「苔テラリウム」です。苔・テラ寺・リ利・ウム生とは和尚のウイットです。如何ですか。

テラリウムとは もともとラテン語の「地球、陸地」を意味する terra「テラ」と「場所」を意味する arium「アリウム」から出来た合成語だそうです。12世紀に偶然からガラスの容器で自然界が出来たことを発見したイギリスの医師であり植物学者ウォード氏によるものだそうです。

当時そのガラスケースは「不思議なウォードの箱」と呼ばれていました。現在では、室内装飾品として居間や客間、玄関などに置かれ、緑がそれを見る人の慰めになるのですね。そしてお金がかかりません。



幸い東光寺にはいろいろな苔が群生しています。

ガラスの容器は買わなくても一杯手に入ります。そう透明なガラスの空き瓶が入れ物です。

一般の植物、シダ類などをモチーフにしたテラリウム、ガラス容器に水をはって藻などを育てるアクアテラリウムがあります。

苔を題材にした「苔テラリウム」が一番手頃です。苔テラリウムには容器に蓋をする「密閉型」と蓋をしない「開放型」があります。

密閉型は ガラス容器のなかで水分が循環して三週間に一度ほどの水やりですみます。直射に当たらない場所が必要です。中がむっさってしまいます。

開放型は水分が蒸発するので適宜水やりの手間がかかります。そのかわり自然に近い状況で育てることができます。水やりには霧吹きがよいようです。



## 注意事項

苔は付近の自然の中にありますが、決して大量に持ち去ることのないように、持ち主がわかっているときは事前に採取の許可を貰う必要があります。また特別自然保護区などでの植物を採取することは法律で禁じられています。くれぐれもご注意ください。



令和2年11月

文責

東光寺住職

鷲見邦隆